

宮沢賢治の科学観

『言葉の流星群』 池澤夏樹、角川文庫、2003年、68頁

“ケンジさんの科学は目の前の自然から始まっている”

紙の上の理論より感覚で自然の質感を知る

土の触感、匂い

石の形、重さ、艶、色

季節ごとの山の植物の姿

自在にスケールを変えることができる

花巻郊外の野原から小岩井農場

岩手山の頂上や北上山地の上空

そして銀河系の果てまでも行く

水平思考

宮沢賢治の宇宙観

賢治の作品を
読み解くのは**難しい**



だから、賢治の作品を
読み解く**試みは楽しい**

宮沢賢治の宇宙観

動的平衡

細胞が生まれる \Leftrightarrow 細胞が死ぬ

これら二つの過程が釣り合う

人は全体としては変化しないように見える

しかし、人は常に変化している！

宮沢賢治の宇宙観

賢治は天の川に動的平衡を見ていた

星が生まれる \Leftrightarrow 星が死ぬ

これら二つの過程が釣り合う

天の川は全体としては変化しないように見える

しかし、天の川は常に変化している！

宮沢賢治の宇宙観

賢治は天の川に動的平衡を見ていた

天の川は生きている！